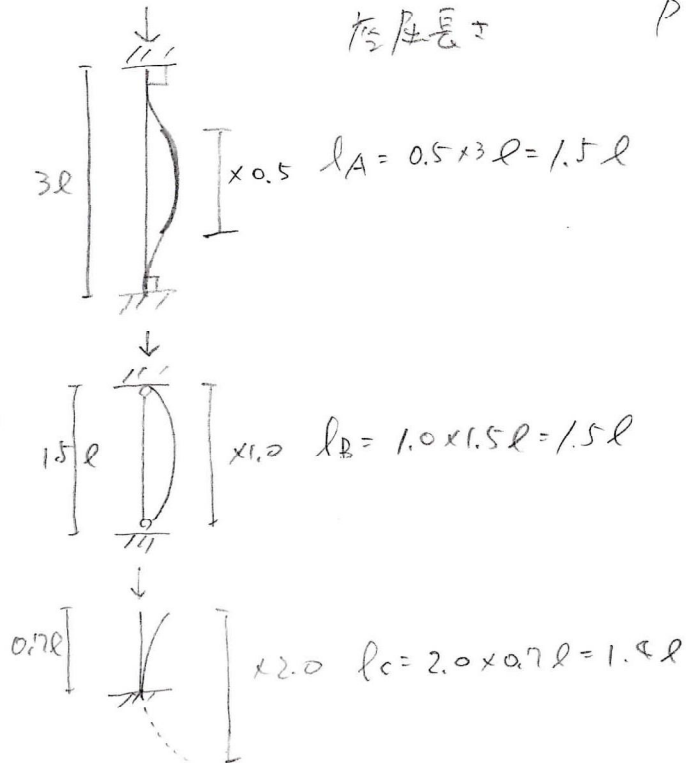
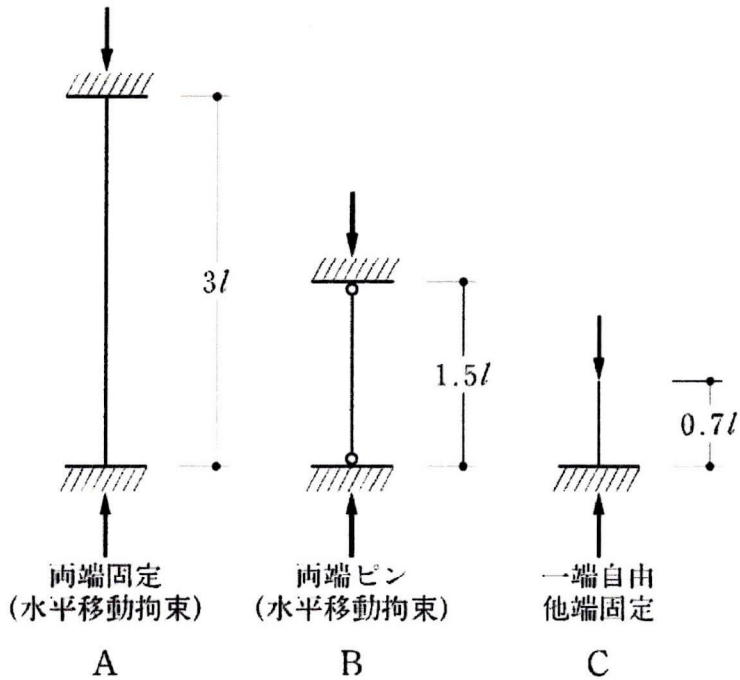


# 平成28年

〔No. 6〕 図のような材の長さ及び材端の支持条件が異なる柱A、B、Cの弾性座屈荷重をそれぞれ $P_A$ 、 $P_B$ 、 $P_C$ としたとき、それらの大小関係として、正しいものは、次のうちどれか。ただし、全ての柱の材質及び断面形状は同じものとする。

1.  $P_A > P_B > P_C$
2.  $P_A > P_C > P_B$
3.  $P_A = P_B > P_C$
4.  $P_B > P_A > P_C$
5.  $P_C > P_A = P_B$



$$P = \frac{\pi^2 EI}{lk^2}$$

lk: 座屈長さ

1.  $l_C < l_A = l_B$
2.  $P_C > P_A = P_B$

手順1. 座屈長さの大小関係を知る

手順2. 弾性座屈荷重の大小関係は座屈長さの大小関係の逆の関係となる